

令和元年度 事務事業評価(議会)
(平成30年度決算)

分科会評価結果

分科会名	文教分科会				整理番号	文教-2		
事務事業名	学校図書館活性化事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	1	拡充	②	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、学校図書館支援員を配置し、読書センター及び学習・情報センターとしての学校図書館の機能の活性化を図り、各学校における児童生徒の主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実させることにより、本市の子供たちの豊かな感性、情操や確かな学力を育むことを目的としている。

学校図書館における児童生徒一人あたりの年間平均貸出冊数達成校の割合は小学校・中学校ともに年々増加しているが、児童生徒の主体的・意欲的な読書活動や学習活動などの実態把握に努める中、読書活動の目的と趣旨を周知徹底するとともに、成果指標において、図書の貸出冊数のみではなく、児童生徒の読書の質を含めた指標についても検討することを求め、継続とした。